

G.省エネ設備

入力する数値に関しては、必要に応じて計算ファイル内で表示されている小数点の位まで入力することとし、それ以下の小数点については四捨五入することとする。

事業者名

設置場所 〒100-8975 千葉県 〇×市 △〇町1-1

区分 施設の新設、または設備の入れ替えではない場合は「新設」、機器・システムの入れ替えの場合は「入れ替え」を選択してください。

従来機器・システム名称

導入する機器・システム名称

導入量 単位 その他の場合

導入する機器・システムおよび、その比較対象とする従来の機器・システムの名称を記載してください。
※ 施設の新設、または機器・システムの入れ替えではない場合は、記載する必要ありません。機器・システムが複数ある場合は、計算ファイルを複数に分けてください。

補助対象となる機器・システムの「導入量」を記入し、「単位」をプルダウンから選択してください。単位の回答は選択式となっておりますが、選択項目に適切な単位がない場合、「その他」を選択し、右側の入力欄に手入力で単位を記入してください。

法定耐用年数 [年] 法定耐用年数を記入

国税庁が発表している耐用年数表を参考にして、法定耐用年数を整数で記入してください。不明である場合は、想定使用年数を記入し、右の選択肢において「想定使用年数を記入」を選択してください。

導入量当たりのCO2削減量(CO2削減原単位)

事業開始前のベースラインとなる年間エネルギー消費量を記載してください。

計算ファイルの赤枠内に必要事項を記入/選

エネルギー種別	年間エネルギー消費量			排出係数	年間CO2削減量		年間CO2削減原単位	
	導入前	導入後	単位		kgCO2/年	kgCO2/年/台		
商用電力	15,280	8,960	kWh/年	0.579	kgCO2/kWh	3659	36.6	kgCO2/年/台
都市ガス	0.00	0.00	Nm ³ /年	2.23	kgCO2/Nm ³	0	0.0	kgCO2/年/台
一般炭	0.00	0.00	kg/年	2.33	kgCO2/kg	0	0.0	kgCO2/年/台
LPG(重量ベース)	0.00	0.00	kg/年	3.00	kgCO2/kg	0	0.0	kgCO2/年/台
LPG(体積ベース)	0.00	0.00	m ³ /年	6.55	kgCO2/m ³	0	0.0	kgCO2/年/台
LNG	0.00	0.00	kg/年	2.70	kgCO2/kg	0	0.0	kgCO2/年/台
灯油	0.00	0.00	L/年	2.49	kgCO2/L	0	0.0	kgCO2/年/台
A重油	0.00	0.00	L/年	2.71	kgCO2/L	0	0.0	kgCO2/年/台
C重油	0.00	0.00	L/年	3.00	kgCO2/L	0	0.0	kgCO2/年/台
ガソリン	0.00	0.00	L/年	2.32	kgCO2/L	0	0.0	kgCO2/年/台
軽油	0.00	0.00	L/年	2.58	kgCO2/L	0	0.0	kgCO2/年/台
ジェット燃料	0.00	0.00	L/年	2.46	kgCO2/L	0	0.0	kgCO2/年/台
水素	0.00	0.00	Nm ³ /年	0.00	kgCO2/Nm ³	0	0.0	kgCO2/年/台
その他1	0.00	0.00	●/年	0.00	kgCO2/●	0	0.0	kgCO2/年/台
その他2	0.00	0.00	■/年	0.00	kgCO2/■	0	0.0	kgCO2/年/台
削減原単位[kgCO2/年/台]							36.6	kgCO2/年/台

所定のエネルギー種別以外のエネルギーを使用する場合は、その他の項目にエネルギー種の名称を記載し、導入前後の年間エネルギー消費量と排出係数を記入してください。水素については、初期値は0としていますが、可能な範囲でライフサイクルでの排出係数を記入してください。

【設定根拠】

稼働負荷・活動量

稼働負荷・活動量の設定根拠

導入前後における機器・システムの業務負荷・活動量(稼働時間、稼働率等)と設定根拠を記載してください。

導入前の年間エネルギー消費量の算出方法を「従来設備・施設の実測データ」、「従来設備・施設の実測データより推計」、「仮想設備(現在の平均的な販売設備)の性能より推計」より選択してください。なお、施設全体の電力量から按分している場合、「従来設備・施設の実測データ」を選択してください。

従来設備	エネルギー消費量の算出方法	選択してください
	性能	例)3種類の蛍光灯を使用。①88W、②100W、③60W
導入設備	性能値の設定根拠・引用元	例)〇×会社のカタログより
	性能	例)3種類のLED照明を導入。①58W、②62W、③30W
導入設備	性能値の設定根拠・引用元	例)〇〇会社のカタログより
	性能	例)〇〇会社のカタログより

従来の機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠・引用元を記載してください。「エネルギー消費量の算出方法」において、「従来設備・施設の実測データ」を選択した場合、「エネルギー消費量の設定根拠・引用元」を記載する必要はありません。

導入後の機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠を記載してください。

結果(CO2削減効果)

年間CO2削減量	3,659	[kgCO2/年]	=	年間CO2削減量	3.66	[tCO2/年]
累計CO2削減量	54,889	[kgCO2]	=	累計CO2削減量	54.89	[tCO2]

事務局確認用

従来のエネルギー消費量の算出方法

法定耐用年数 法定耐用年数を記入

区分